

日刊 動労千葉

82.1.12
No.94C

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二九三五ノ六(公衆)四五二二七二〇七

三里塚 反対同盟

82年二期決戦突入の決意も旗開き

二期強行着工のあらゆる攻撃を粉碎し、三里塚闘争の原点ニ農地死守・空港廃港へ

昨年十二月二五日、突然敷地内反対同盟宅に姿をあらわした運輸審議官(空港担当)服部を、もののみごとく撃退し、これにただちに弾劾声明(12・27)をもつてこたえ、意気ようとして、一月十日旗開きを開催した三里塚芝山連合空港反対同盟は、同盟員を中心に、内外からの代表三六〇名を結集し、八二年の冒頭、二期着工阻止の決意もあらたに大成功をかちとりました。

反戦・反核・地域住民闘争等、日本のすべての闘いのセンターとなる三里塚闘争

われわれも関川委員長を先頭に多数参加し、八二年三里塚・春闘の高揚へ、三里塚反対同盟と共に誓い合いました。

新年のあいさつに立った石橋政次副委員長は、「82年は、同盟にとって十八年目に突入し、同時に二期強行着工という厳しい年であると思えます。しかし、われわれは、今日の空のよう一点のくもりもなくはれわたっている。今日を期して厳しい情勢となるが、全国の皆さんの支援で、なんとしても二期阻止に向けて頑張っていきたい。会場の内外に参加された皆さん共に闘いましょう。」

続いて北原事務局長は方針提起にたち、「今日の旗開きの会場は記念すべき場所(千代田公民館)である。かつて岩山鉄塔は、公団・権力によってぬき打ち撤去された。そのとき、この会場にわれわれは結集し、権力と激突し勝利した場所である。会場内外あふれる皆さんの結集は、八二年が決戦の年であることをしめしている。これまで同盟の闘いをささえてくれたすべて、援農に始まってあらゆる闘い、その総結集軸がここに参集したと思います。十二月二七日弾劾声明を發した。小川嘉吉、小川喜平さん二人、この闘いが同盟の八二年のすべての決意です。同時に労働戦線も、三里塚をたたかうことよって労働界の右傾化も許さない闘いをつくっていく。空港公団・政府権力との『話し合い』は一切拒否する、そして動労千葉・全金本山と共に闘い、すべての闘いを闘いぬく決意を宣言したいと思えます。」

全関西を代表して、山本善偉さんが発言にたち「十数年にわたって三里塚反対同盟に闘いを教わってきた。その教訓が、いよいよ昨年の関西空港阻止の闘いで実戦に生かされた。『四空整』閣議決定で攻撃は本格的に開始された。大阪府は、金で解決しようとしてきている。同時にその第一の攻撃として、泉州沖のボーリング調査と称した攻撃をかけてきた。これを海上でデモし、粉碎した。三里塚でいえば最初の外郭調査ということだ。」

アリバイ的にボーリング調査、説明会など一方的に攻撃をかけ、八三年には閣議決定までとりつけようとしています。故戸村さんのことばで、「三里塚の闘いを全国で闘うことだ」といわれましたが、東の三里塚・西の三里塚としていよいよ関西空港阻止の闘いが開始された。関西は、二月二五日全関西集会を圧倒的にかちとり、三月二八日、幾数倍の人民を、すなわち、十万人を決起させる決意です。共に闘いましょう。」

最後に、動労千葉一三〇〇を代表して関川委員長の発言の主旨は次の通りです。「八一年は文字通り激動の年でありました。われわれにとつて、81・3ジェットストライキ、その闘いを闘ったがゆえに、6・12デッチ上げで、組織破壊攻撃をかけられたが、われわれは、総力でこれに抗し闘い勝利した。更に昨年来、右翼労働『統一』攻撃がかけられて、そしてこの闘いと勝利の鍵は、三里塚二期の闘いにある。われわれは三月三里塚・春闘として闘いぬき、そのもとに、心ある全国の労働者の大結集をかちとり、そして三月二八日に労働者本隊として、現地闘争を闘い抜きたい。」

こうして、一月一〇日三里塚反対同盟旗開きか三月決戦に向かつて、着実に力強く突入するため参加者全体の決意がかちとられ、圧倒的に成功したことを報告したいと思います。(尚、多くの発言については次の機会に掲載したいと思います。)

動労千葉団結旗開き
に結集しよう.....

日時 1982年1月16日 13時~
場所 労働者福祉センター・大ホール

〔プログラム概要〕

- 主催者あいさつ 関川 宰執行委員長
- 講演 『「右翼労働問題」と三里塚闘争』 高島喜久男(労働運動評論家)
- 基調 「82年をいかに闘うか」 中野 洋 書記長
- 各支部決意表明
- 連帯あいさつ 三里塚反対同盟、県労連、顧問弁護団、他
- アトラクション 民謡、ギター演奏、各支部対抗カラオケ大会、他